

アジア・中国を中心とした海外の与信管理

このセミナーでは、アジアと中国を中心に海外の企業と取引する場合の与信管理・債権回収のポイントを解説します。法律や理論ではなく、実務に役立つ知識やノウハウの提供を主眼に置いた講座となっています。

このセミナーに参加することで、アジアや中国企業との取引で注意すべきポイント、中国やアジア企業の信用リスクの判断基準、債権保全策、遅延債権の具体的な回収策が理解できます。

1. 海外与信管理の基礎知識～日本の常識は世界の非常識

(1) 国内と海外の違い (2) 与信管理の重要性 (3) 社内の与信管理体制強化 (4) 海外向けの与信管理規定 (5) Credit Application (与信取引申請書) (6) 遅延期間と回収率 (7) Collection Agency (債権回収代行会社) とは (8) なぜ、第三者が回収できるのか

2. 英文信用調査レポートのポイント

(1) 格付けの解釈 (2) 倒産データに基づく信用リスク指標 (3) 担保設定状況 (4) 支払情報 (5) 回収代行履歴

3. 中国の信用調査レポートのポイント

(1) 輸出入権の有無 (2) 経営範囲 (3) 法定代表者 (4) 経営期限 (5) 中国の格付けと与信限度額 (6) 銀行照会と取引照会 (7) 決算書の入手

4. アジア (香港・フィリピン・韓国・台湾・シンガポール・タイ・インド・インドネシア) における与信管理の注意点

(1) 国の格付け (2) 決済条件とサト (3) 担保設定と保証 (4) 約束手形の普及 (5) 与信管理の注意点

5. 中国の与信管理と債権回収の注意点

(1) 台頭する保護主義 (2) 三角債とは (3) 支払いは遅れるのが常識 (4) 中国の手形のリスク (5) 債務保証の問題点 (6) 担保の取得による債権保全策 (7) 対外債務とは (8) 債権譲渡による回収 (9) 決済条件のポイント (10) 契約締結時の注意点、仲裁条項 (11) 回収における営業担当者の活用 (12) 時効の中断

6. 債権の保全と法的手段

(1) 海外取引の代表的な支払条件 (2) ファクタリング (3) 貿易保険 (4) 輸出取引信用保険 (5) 海外で訴訟する場合の注意点 (6) ADR

7. 事例の検証とその教訓

日本企業のトラブル事例 (韓国、インド他) ・遅延債権の回収を進める上で重要なポイント

■ 講師 牧野 和彦 ナレッジマネジメントジャパン株式会社 代表取締役 / 与信管理コンサルタント

早稲田大学卒。ダント・ブラッド・ストリート・ジャパンを経て、2000年に現在の会社を設立。与信管理のコンサルティングや講演、執筆業務を行う。与信管理、債権回収、財務分析、海外取引、コミュニケーションなどをテーマに過去 615 回の講演をこなし、受講者は 15,000 名を超える。日本人で初めて National Collections & Credit Risk において講演した経験も持つ。日本経済新聞、早稲田大学の講師としても活動中。<著書・訳書>『ガンの企業審査入門』(日本経済新聞社)、『海外取引の与信管理と債権回収』(税務経理協会) 『税理士・会計事務所のための与信管理ガイド』(中央経済社) 他多数

■ 日時 2013年6月5日(水) 10:00~16:30 ■ 定員 10名

■ 会場 きゅりあん (品川区立総合区民会館) 6階 小会議室

■ 費用 38,000円(税込) *テキスト代・昼食代含む

■ お問い合わせ ナレッジマネジメントジャパン株式会社 B-Seminar 担当

Tel: **0120-453-706** Fax: **03-5575-2277**

Homepage <http://www.kmjpn.com> E-mail: seminar@kmjpn.com

■ お申込み 下記にご記入の上、FAX 下さい。(Fax: **03-5575-2277**) お申込みを受付後、当社より受講票及び請求書をお送りいたします。*セミナー開催日の前日 17:00(前日が日祝日の場合は、前営業日)以降のキャンセルについては受講費用全額をご請求致します。

FAX : 03 - 5575 - 2277 < 6月5日(水) アジア・中国を中心とした海外の与信管理 >HP			
受 講 者 名		フリガナ	
会 社 名			
ご 住 所	〒		
部 署 名			役 職 名
TEL			FAX
E-mail アドレス			